

4月の主な行事

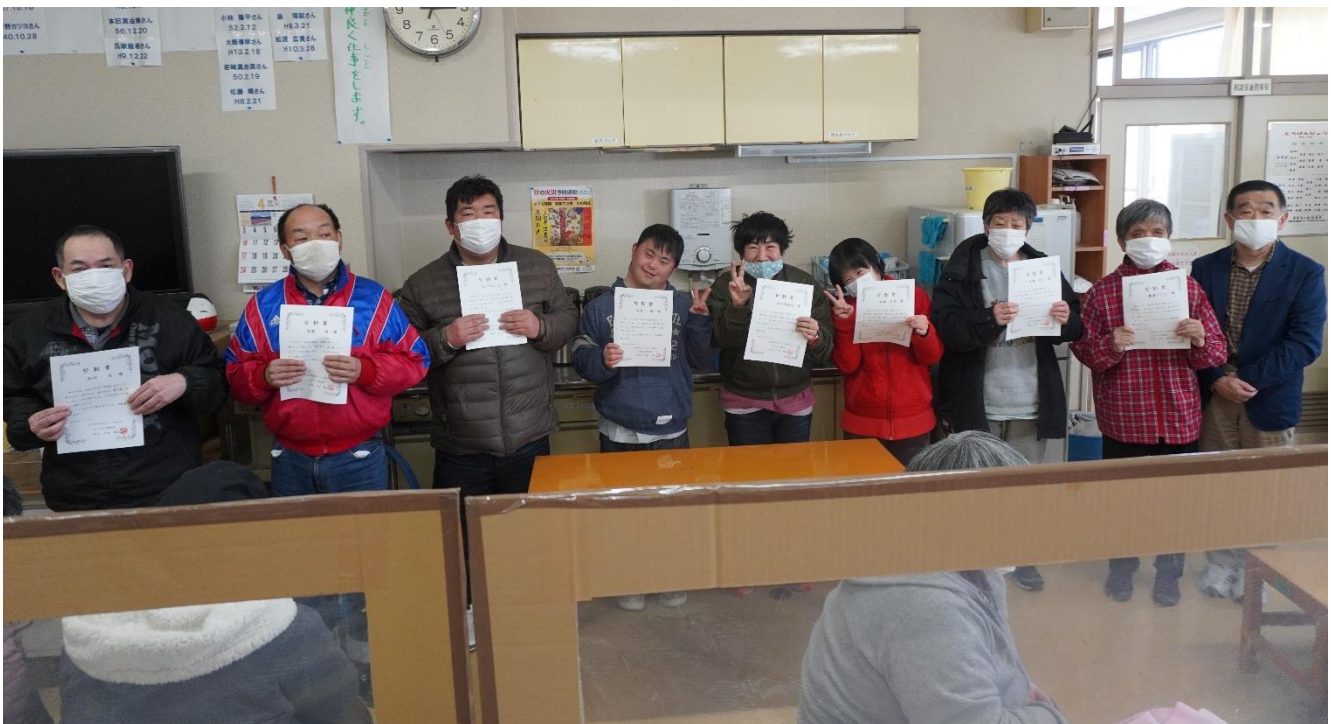
- 4月1日(金) 辞令交付式 理事長訓示
合同職員会議
- 2日(土) 土曜利用日
- 8日(金) 工賃支給日
- 15日(金) 遠足代替行事室内お花見

4月誕生月のみなさん おめでとうございます

齋藤サト子さん 池田亜希子さん
八巻裕幸さん 鈴木良子さん

おめでとうございます。誕生会は、5月生まれの皆さんといっしょに5月に行います。お楽しみに。

令和3年度皆勤者をたたえる



皆勤賞を受け取った8人の利用者さん



期末手当を受け取る利用者さん。大福もちもいっしょに受け取りました

3月31日、令和3年度の最終日、出勤率100%利用者さんを称え、皆勤賞を贈りました。またこの日は皆勤賞授与に先立ち、一年間のご苦勞ぶりとして全員に期末手当を支給しました。

中木所長からあいさつがあり、利用者さんへ1年間の就労をねぎらい、結びにみんなで拍手してお互いの1年間の仕事を称えあいしました。みなさんご苦勞様でした。

ごあいさつ

新年度がスタートしました。社会福祉法人あぶくま福祉会吉田理事長
ほどはら授産所保護者会池田会長、ほどはら授産所中木所長より、新年
度にあたって、ごあいさつを申し上げます。



令和4年度のスタートにあたって



社会福祉法人あぶくま福祉会
理事長 吉田修次郎

桜花爛漫、過ごしやすい季節となりました。昨年末から今年初めにかけては例年になく雪が多い季節でしたが、ようやく春らしい季節となり、このお便りが皆さんのお手元に届く頃には桜の花だよりが聞こえてくるものと思います。利用者の皆さんにとっては、外での活動が楽しみな季節を迎えました。

さて、先月16日未明の大地震発生は、昨年2月の余震に続く大きな揺れに眠れぬ夜を過ごされたこととお察し申し上げます。被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症は3年目に入っておりますが、一向に終息できません。利用者の皆さんの3回目のワクチン接種が3月9日実施いたしました。今後も油断することなく感染防止を徹底して施設運営を行ってまいりたいと思います。引き続きご協力をお願い申し上げます。

令和4年度は、社会福祉充実計画による「ほどはら授産所の園芸ハウス」もお陰様で完成をしました。今年度は就労作業をより円滑に行うための環境整備を行います。いましばらくの間工事が続くと思いますが、ご協力をお願い申し上げます。更に、ハウスの南側に職員駐車場を整備しました。これまで施設の前に駐車していた職員の車が職員駐車場に移動することで、広場が広々となって今までよりは使いやすくなります。施設構内への車の乗り入れは可能な限り少なくし、利用者の安全確保を図りたいと思います。保護者の皆さんにも送迎のため構内走行の際はスピードを落とし、安全運転に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

昨年後半から西回りのバスを廃車し、送迎をワゴン車による送迎に切り替えました。今年度は、全希望者が個別送迎可能となるよう、運転手の確保や燃料費の高騰など厳しい中ではありますが、早期に実施すべく条件整備を進めたいと考えております。

昨年4月だての郷事務室の奥に相談支援事業所「よつば」を開設しました。利用者がサービス等を適切に受けられるよう、今後は利用者契約数の確保等、相談・支援の更なる充実を図る必要があります。

ほどはら授産所は開所33年、だての郷は23年となり老朽化が進んでいます。今年度両施設とも空調設備を一新する必要があります。空調設備の更新には莫大な予算を必要となります。今後は経費の節減を図り、法人の財政健全化を進めてまいります。

私たち福祉の仕事は、コロナの時代であっても、一般企業のようにオンラインやリモート、ソーシャルディスタンスでの仕事はできません。これからも社会福祉法人の使命である「地域に開かれた施設」として地域貢献、公益事業の実施とともに「利用者のための施設」として努力をしてまいりたいと思っております。保護者の皆様には、より一層のご理解ご支援をいただきますようお願い申し上げ、新年度スタートにあたってのご挨拶といたします。



年度初めにあって

ほどはら授産所保護者会

会長 池田光雄

新年度にあたって一言ご挨拶申し上げます。

常日頃より当施設の運営と保護者会活動に対し、ご支援ご協力ご理解をいただいていることに、厚く御礼と感謝を申し上げます。

昨年末には新型コロナウイルス感染が一時減少しましたが、新たな変異株オミクロンの感染が拡大し、猛威をふるい心配が増えました。

油断することなく今まで以上に感染予防のための努力を日々積み重ねてほしいと思っています。一日でも早くコロナが収束し、普段の日常生活が送られるよう願わずにはいられません。

結びに、利用者が仲良く、明るく、楽しく仕事に精を出して働くことができる職場になりますように、所長さんはじめ職員の方々の温かいご指導とご支援を切に願うところであります。よろしくお願い申し上げます。

令和4年度が、怪我、病気、事故等にあわない良い年でありますようご祈念申し上げ、年度初めのごあいさつといたします。どうぞよろしくお願いいたします。

新年度スタートにあたって

ほどはら授産所 所長 中木雅彦

新年度を迎えました。今、私たちの暮らしは、以前からの新型コロナウイルス感染症への脅威に加え、新たにロシアのウクライナ侵攻による世界平和の危機と、その影響による物価高、昨年2月に続く今年3月の大地震とその余震の発生等々、いろいろな難題に直面した新年度のスタートになりました。

さてそのような状況にあって、ほどはら授産所利用者さんは、昨年一年、各作業班とも一生懸命仕事に励みました。コロナ感染予防のため、遠足や研修旅行など施設外の行事を我慢した一年になってしまいました。この間、利用者さんはじめ保護者の皆様には温かいご理解とご支援を賜り、施設運営できましたこと御礼を申し上げます。

第3回目のワクチン接種が始まり、社会全体が昨年秋のような集団免疫状態で終息に向ってくれるといいのですが、変異株の再出現の心配もあり、そう簡単にはいかないことを覚悟し、利用者の皆さんはじめ、ご家族・職員の皆さんには、毎日自身の健康管理に注意を払い、マスクの着用と入念な手洗い・うがいを継続していただきたいと思います。毎朝自宅を出る前の検温、マスク着用が当たり前になってしまいました。以前は非日常的なことでしたが、今は習慣化し、ある意味日々の体調管理であり、健康維持のためコロナ終息後も定着していただければと思っています。

さて小職も着任以来3年9か月がたちました。毎日、利用者の皆さん、保護者の皆さん、職員の皆さんとコミュニケーションを深めながら、施設運営をしております。利用者さんがうれしいことや楽しいことは2倍に、悲しいことやつらいことは半分にしてあげ、皆でどちらも分かち合うことを信条に業務にあたっています。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ほどはら授産所作業各班とも、担当職員が今年も一生懸命支援してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。特に今年は大型ハウスを利用した花苗栽培に着手できるよう、ハウス内外の環境を整える年になっています。

結びに、今年度も先が見えない社会情勢の中、初心に帰って利用者さんのことを思い、寄り添い、「授産所に来てよかったあ」と言われるよう、利用者の皆さんの居心地が良い施設運営をしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ほどはら授産所作業班 令和4年度活動方針！



作業班担当から、今年目標や活動の方針をお伝えします。本年度もよろしく
お願いします。

農耕園芸班



令和4年度の農耕園芸班では、新しく完成した大型
ハウスで花苗栽培が始まります。平成6年から園芸作業に取り組みを始めてから28年
が経過しました。様々な気候変動に耐えて長年活躍してきたこれまでのハウスに感謝を
しているところです。新しいハウスは、4月以降、効率よく作業が行えるように内部の
整備を行います。

春夏のマリーゴールドやサルビアの植え替え作業を始めており、5月にかけて繁忙期
を迎えます。6月には数多くの納品を見込んでいるところです。秋冬は、パンジー・つ
りがねそうなどの栽培を予定しております。

園芸作業を行う利用者の皆さんは、たくさんの植え替え作業をはじめ花苗の運搬・苗
揃え、ポットの汚れ取り、環境整備などの屋外作業に根気よく、力強く取り組んでい
ただいております。新型コロナウイルスの感染終息が見通せないところですが、今年度も
利用者皆さんの大いなる活躍に期待しております。

みなさん力を合わせて「ほどはらの花」を「たくさん咲がせっぺない！」

(担当 佐藤典昭管理者)

手工芸班



昨年末から再び新型コロナウイルスの影響を受け、タオルの作業
が少なくなってしまいましたが、今年3月に入り再度作業が入るようになりました。

皆さん笑顔で作業に取り組む姿が見られとても嬉しいです。これから、作業量が増え
る事を期待しております。

刺し子ふきんにおきましては、皆さん集中してたくさんの作品を仕上げいております。
多くの方々にご利用いただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

新しい年度を迎えるにあたり利用者の皆さんは、令和3年度同様に今まで苦手にして
いた作業においても挑戦していく気持ちや、班の枠を超えどんな作業にも挑戦する気
持ちを持っており、とても楽しみです。

まだまだ新型コロナウイルスのため自粛ムードですが、新型コロナウイルスに負けない体と心
を育てていきたいと思っております。

令和4年度はより飛躍した年になるようにしたいです。よろしくお願いいたします。

(担当 菅野富江生活支援員)

段ボール班



新年度を迎え、心機一転、作業が始まりました。

本年度も男性4名・女性5名・シルバー職員3名の体制で作業に従事していきます。

コロナ禍がいまだ明けず、流通業界も先行きが見えない状況で少なからず、段ボール下請けにも影響が出ております。さらに広い視野で見ると東欧での紛争の世界経済への影響は計り知れないものがあり、日本経済・物流にも影響は大きいものになるでしょう。私たちの生活にも何らかの支障が危惧されています。

そんな中、物流の一翼を担う授産所段ボール班として、できる作業、頼まれた作業に責任をもって正確に・迅速に仕上げることに、それは社会情勢の変化や自然災害などに応じて臨機応変に対応する柔軟性がますます今後求められると思います。

苦手な作業のある方は、できる限り少しずつ出来るように練習を繰り返し、自信を身につけていく。得意な作業がある方はさらに技術を向上させて生産性に繋げていただきたいと思います。

そしてそれぞれがルールやマナーを守り、お互いを助け合い、チームプレーでこの一年を健康で生活・作業していただくことを期待しております。一年間よろしくお願いいたします。
(担当 木村光永目標工賃達成指導員)

リサイクル班



温かい春の陽気が続く中、新年度スタートの時期を迎えました。

リサイクル班の皆さんには、今年度も病気や怪我に気を付け、元気に出勤して作業に取り組んで欲しいと思います。

今年度の作業内容は、引き続き電子機器の分解と分別を行うリサイクル作業と介護ベッドの洗浄作業が中心になります。受注された作業を手早く、そして着実に進めて欲しいと思います。まだコロナウイルス感染症の影響で受注量に波がありますが、目の前の作業に一つ一つ真剣に取り組んで下さい。初めての作業や難しい作業、精密さを必要とする作業と色々な状況があるかと思いますが、自分の得意な作業を中心に力を発揮して取り組んで下さい。一人で出来る事や周囲の人達と協力しなければならない事があります。リサイクル班全員で協力しながら頑張っていきましょう。

外出行事はまだ難しい状況にありますが、代替え行事等作業以外の活動にも皆さんと一緒に楽しく参加していきたいです。1年間よろしくお願いいたします。

(担当 鈴木信行主任)

2月3月生まれ誕生会 ひな祭りに合わせて開く！



正面に整列した誕生者の皆さんと一緒にうれしいひなまつりを歌いました

3月3日、午後の作業を早めに切り上げて2月3月生まれ利用者の誕生日を祝う誕生会とひな祭りを祝うつどいを開きました。初めに中木所長からお祝いの言葉があり、みんなで♪ハッピーバースデーを歌って、2月と3月に生まれた利用者8名の皆さんを祝福しました。誕生者の皆さんにはバースデーカードがプレゼントされました。そして、ひな祭りに合わせて「うれしいひなまつり」を歌って、佐藤静香さんの乾杯の発声で飲み物とケーキをいただき、みんなで誕生者とひな祭りを祝いました。

令和3年度利用者さんの誕生会は、今回で全員をお祝いすることができました。皆さん、おめでとうございます。新年度も基本2月に1回の日程で誕生会を行います。(誕生月によって該当者がいない場合、日程調整をさせていただきます) 利用者の皆さん、お楽しみに。



佐藤利彦さん



小林陽平さん



大橋春寧さん



岩崎真由美さん



佐藤 瞬さん



佐藤静香さん



嶋 海就さん



松浦広貴さん

すし竹さんへ御礼に伺う

節分の際、施設へお寿司のご寄付をいただいた有限会社すし竹様へ、2月25日、両施設の利用者代表が御礼にすし竹赤橋店へ伺いました。

店先で大竹社長様に御礼のメッセージプレートと、吉田理事長からの御礼状をお渡ししました。ほどはら授産所からは三浦美津さんがお届けしました。大竹社長さんからは「お店に掲示させていただきます。皆さんありがとうございました」とほどはら授産所の皆さんに御礼の言葉がありました。



大竹社長さんにプレートを手渡す三浦利用者（写真左）



あぶくま福祉会

あぶくま福祉会だより 令和4年4月号

新年度に向け 理事会 評議員会開く



いつもよりテーブルを追加し、席の間隔を開けて理事会を開催



評議員会で開会のあいさつする吉田理事長

令和4年第1回評議員会は、3月23日、ほどはら授産所で開きました。

審議は、第1回理事会で可決された議案と同じ内容で、意見、質問が交わされた後、いずれの報告、議案とも原案のとおり可決承認されました。

この会議は当初、保原中央交流館で行う予定でしたが、3月16日の大地震による施設点検のため使用見合わせとなり、ほどはら授産所で感染防止対策をとって行いました。

令和4年第1回理事会を3月10日に、ほどはら授産所で開催しました。

吉田理事長の開会のあいさつ後、議事に入り、報告1件と追加議案を含め7件の議案が審議されました。

報告は、社会福祉充実残額の執行状況でした。議案は、グループホームスクラムの管理運営規程の一部改正、社会福祉充実計画期間の延長、令和3年度補正予算、令和4年度事業計画、令和4年度予算、給与規程の一部改正等が審議され、活発な意見、質問が交わされました。

審議の結果、いずれの議案も原案のとおり可決され、3月23日の本年第1回評議員会に送られました。

社会福祉充実計画4年度に継続



大型ハウス引き渡しを受ける吉田理事長

両会議で、平成29年度から始まった社会福祉充実計画事業のうち、大型ハウス、駐車場整備工事が終了したことを報告しました。給水工事については、資材調達が年度内に整わず令和4年度に継続されることが審議され、承認されました。

新年度を迎えるにあたり、利用者の皆さんはそれぞれに希望や目標を持ちスタートされることと思います。「身の回りをきれいにする」「健康の為に体を動かす」「たくさんお話をして気持ちを伝える」「本を買って勉強する」など……。今年度も支援員世話人全員でこれらみなさんの目標と生活を見守り支えていきたいと思ひます。

共同生活では、他人との関わり方を身に付け協調して生活する事が大切となります。ストレスを感じる面もあると思ひますが、今後も少しずつ経験を積み自立へ向けて頑張ってください。同じ屋根の下の生活する仲間お互いに励ましあい、優しい気持ちを持って生活して欲しいと思ひます。

未だコロナウィルス感染症拡大に伴い、外食体験会に出掛けることや地域の行事等への参加が難しい状況ですが、新年会、節分、花見、お彼岸、クリスマス会とホーム内での小さな催しを通して、季節の移り変わりをみなさんで楽しみたいと思ひます。

今後もコロナウィルスに感染しないよう日頃の手洗いや消毒、行動に気をつけていきましょう。1年間よろしくお願ひします。

(担当：グループホームスクラム サービス管理者 鈴木信行)

相談支援事業所



桜のつばみも膨らんできました。
開花が待ち遠しいですね。

よつば2年目になりました。相談支援事業所の役割にそって、利用者さんや保護者のみなさんに寄り添い、一緒に考えて行けるように努めてまいります。

今年度も「よつば」よろしくお願ひいたします。

相談支援専門員 木村千賀子

960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100

だての郷内

電話 024-597-6039 FAX 024-576-7815

編集後記 / 四月春爛漫、新年度事業実施に向け心弾む時期であります。今年度は新型コロナウイルス感染症に加え、ロシアのウクライナ侵攻と物価高、年金減額など、これから私たちの暮らしがどうなるか不安な新年度のスタートとなりました▼その中で当法人にとって大型ハウス完成は、若隆景の新関脇初優勝に匹敵する明るいニュースです。皆様のご理解ご支援どうぞよろしくお願ひします▼さて、新型コロナはオミクロン株感染患者数の高止まり傾向が続いています。引き続きみなで感染予防に努めたいと思ひます。もし罹った時は、しょうがないのでクラスター防止に努め、休んで治療に励むしかありません。安心して休んでください▼ほどはら授産所に4月から新規利用者熊坂友輔さんが加わりました。3月に高等部卒業したばかりの新社会人です。次号で詳しくご紹介します。みなさんよろしくお願ひします▼今年の支援の目標として「寄り添う心とフットワークを！！」をキャッチフレーズに、毎日利用者さんが楽しく仕事ができるよう、今年も4班体制で支援してまいります。特に農耕園芸班の皆さんには新たなハウスの中での作業になると思ひます。なれないところの作業になりますが、頑張ってください▼今年度は個別送迎2年目で、送迎利用者の拡大を目指しております。決まり次第、皆様にお知らせいたします▼令和4年度も保護者の皆様の温かいご理解・ご協力よろしくお願ひします。(M)